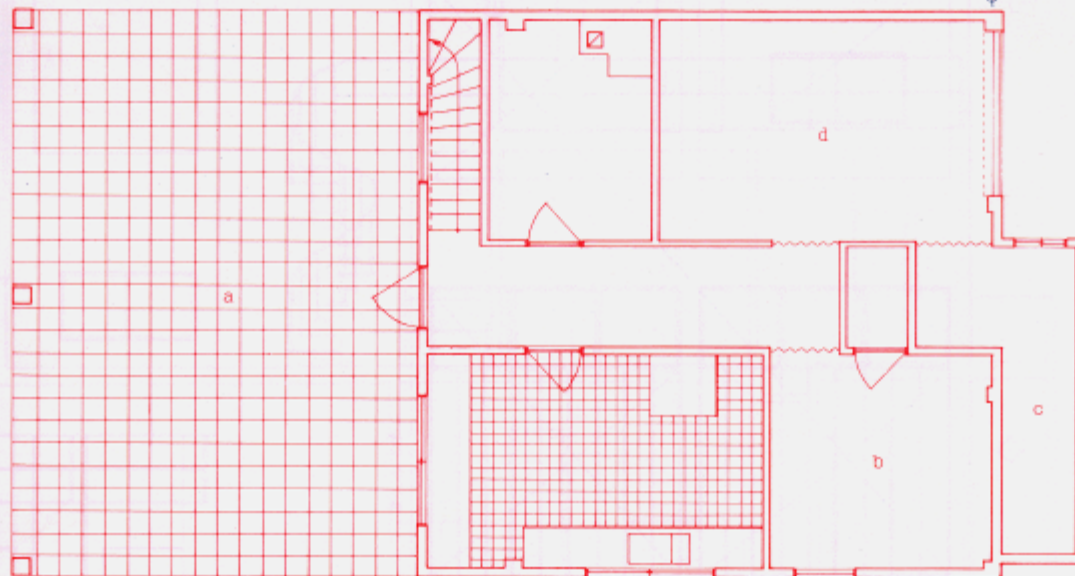
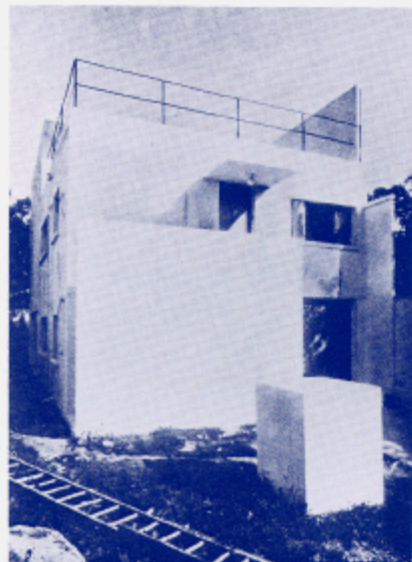




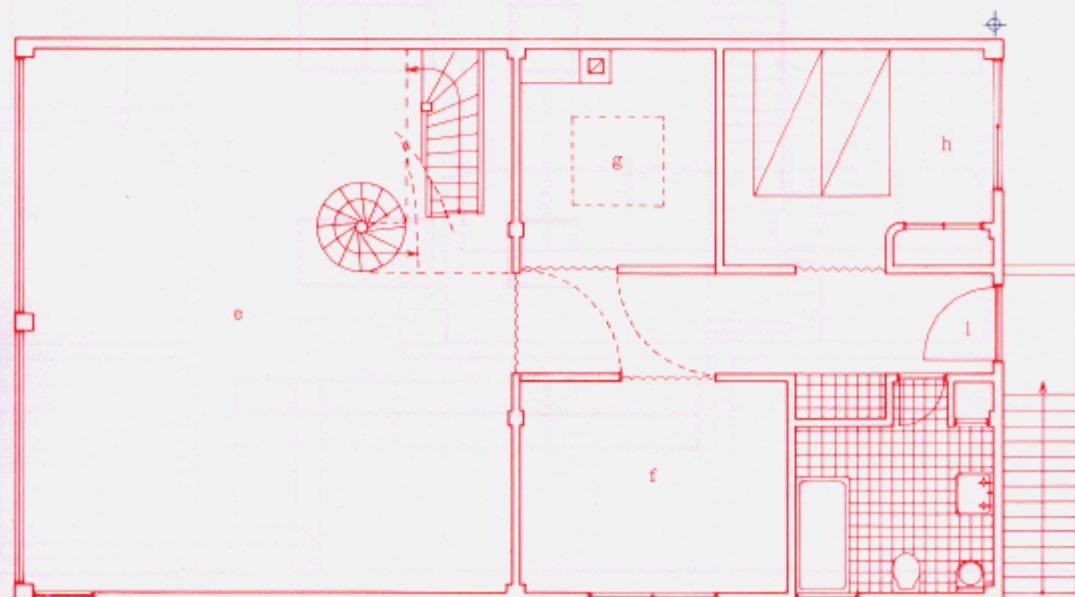
⑤



⑦ 1階平面



⑥



⑧ 2階平面

内部の量のずれが投影された面

パリの近郊ムードンに建てられたドゥースブルフのスタジオ付の自邸である。小さな住宅であるが、平面、立面が**基準線**によって統制され、単純な比例が支配している。ヴォリュームを閉ざされた直方体のなかに押しこめようとするのではなく、内部のヴォリュームの運動が外部に表明され、それが面の構成に表われている。

基準線 (トラセ・レギュラトゥール)

画面を分節し、秩序を与えるための一種の補助線。ギリシャの神殿、ルネサンスの諸例、ル・コルビュジエに至るまで建築に用いられた事例は非常に多い。具体的な原理としては、

a) 対角線式 (図形的) 作図法と、b)

数量的 (算術的) 作図法とがある。

対角線式 (図形的) 作図法とはある

面内に多くの相似矩形を発生させる

ことであり、対角線式 (算術的) 作図法

あるいは量測をなすかのどちらかの

線によって面の形態を制御する。数

量的 (算術的) 作図法とは、ある面

内に量的な韻律を発生させる方式で

あり、水平の分割、あるいは垂直の

分割によって整数比の幅の関係をつ

くり出す。

- | | |
|----------|---------|
| a : テラス | f : 音楽室 |
| b : 予備室 | g : 図書室 |
| c : 倉庫 | h : 寝室 |
| d : ガレージ | i : 玄関 |
| e : スタジオ | j : 天窓 |

